



Summit Audio, Inc.

TLA-50

TUBE LEVELER



USER'S MANUAL
-取扱説明書-



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は SUMMIT AUDIO TLA-50 をお買い上げいただき、誠に有難うございます。製品の性能をフルに活用し、末永くお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

主な仕様

- ・ イージーオペレーション
- ・ ソフトニーコンプレッション
- ・ アタックとリリースセッティングをスイッチで簡単に選択可能
- ・ サイド・チェーン機能
- ・ ステレオ・カップリング機能
- ・ 入出力はバランスとアンバランスに対応

フロントパネル



Attack スイッチ

この 3 ウェイ・スイッチで Fast、Medium、Slow のいずれかのアタックタイムを設定します。

Release スイッチ

この 3 ウェイ・スイッチでリリースタイムの設定を行います。Attack スイッチと同様、Fast、Medium、Slow の 3 つの設定ができます。

Meter スイッチ

このスイッチでフロントパネルのメーターが出力レベルかゲイン・リダクションのどちらかの表示に切り替わります。

Gain

このつまみで TLA-50 の全体のゲインを設定します。フロントメーターで表示することができる全体の出力レベルを設定することができます。

Gain Reduction

このつまみでゲイン・リダクションの量とゲイン・リダクションが動作し始めるポイントを設定します。ゲイン・リダクションの数値を上げるほどコンプレッション率が上がります。

Bypass スイッチ

このスイッチも 3 ウェイ・スイッチです。

中央の IN モードでは信号が通常どおり TLA-50 のオーディオ・パスを通ります。

左側の Link モードでは 2 台の TLA-50 を接続してステレオリンクが可能になります。

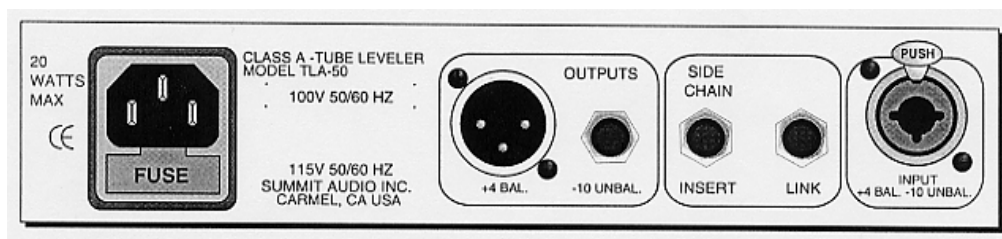
POWER スイッチ

TLA-50 の電源の ON/OFF を行います。

※重要、必ず読んで下さい!!

TLA-50 は真空管を使用しており、動作中は若干の熱を持ちます。本体上にある冷却用の穴をふさがないように設置して下さい。特に TLA-50 をラックマウントする際は通風用のスペースを十分にとって下さい。

リアパネル



AC コンセント

TLA-50 は 100V 仕様です。本体を接続する前に必ず接続コンセントが 100V 仕様になっているか確認して下さい。

+4dB バランス出力

バランス出力は XLR オスを採用しスタジオ内などで長いケーブルを使用する場合に有効です。+4dBm、0VU です。コネクターの極性は以下の通りです。

1 Pin：アース

2 Pin：+

3 Pin：-

-10 アンバランス出力

標準フォンを採用しています。アンバランス出力の機材を接続して下さい。メーターでの 0VU は -10dBm です。

サイドチェーン・インサート

サイドチェーンインサート端子に EQ を接続することにより、特定の周波数にコンプレッサーをかけることが可能です。接続にはインサーションケーブルをご利用下さい。

ステレオリンク

2 台の TLA-50 をリンクすることでステレオ信号をコンプレッションすることができます。ステレオリンクした場合、それぞれの出力レベルは同じになります。より多くコンプレッションをかけた方の設定が有効になります。

2 台をステレオリンクする場合

1. 2 台の TLA-50 をモノラルフォンケーブルで接続して下さい。
2. コントロールセッティングを同じにします。
3. フロントパネルの「BYPASS」スイッチを「LINK」に設定して下さい。

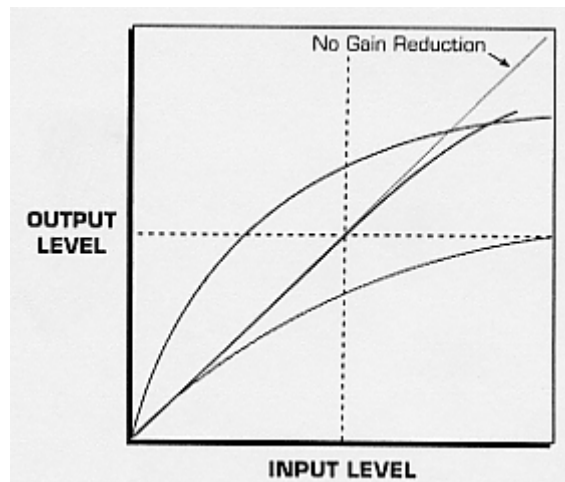
バランス入力

XLR コンボ端子を採用しており、バランス仕様として XLR プラグ、アンバランス仕様としてフォンプラグを使用できます。入力インピーダンスは 20k Ω です。最大信号入力レベルは +26dBm です。

基本操作

4 ステップ設定

1. ゲインリダクションコントロールつまみを 0 にセットし、ゲインコントロールをメーター上で 0VU に調節して下さい。
2. アタックを SLOW に、リリースを FAST に切り替えて下さい。
3. ゲインリダクションでコンプレッションの量を調節して下さい。その後ゲインリダクションによって減少した音量をゲインコントロールにて適正レベルまで戻して下さい。その際、BYPASS スwitchを切り替えることにより原音の音量を確認できます。
4. 音源によって、アタック/リリース設定を調節して下さい。

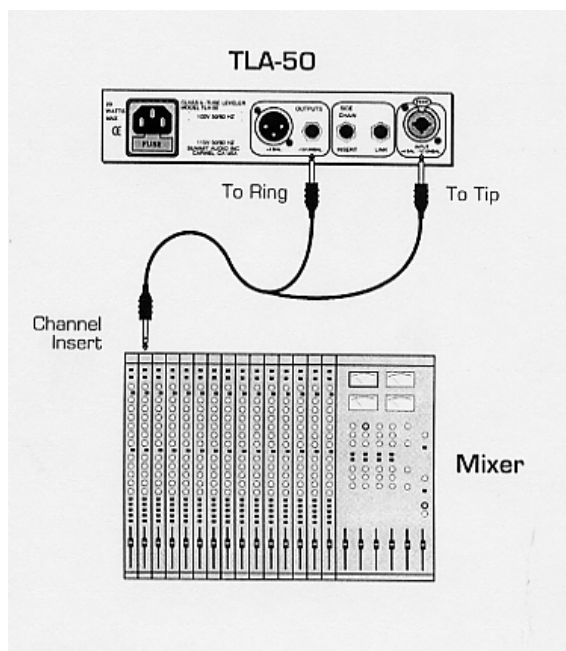


大きなピークを感知すると、自動的にコンプレッション・レシオが上がりオーディオ出力をコントロールします。

アプリケーション

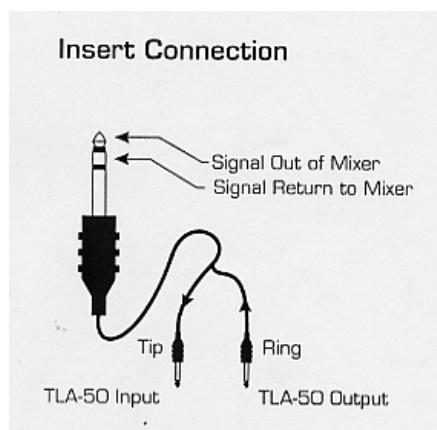
トラッキング、ライブサウンドミキシング

TLA-50 をミキサーのインサートジャックインサションケーブルを使用して接続します。もし外部のマイクプリアンプを使用する場合はプリアンプのすぐ後に接続します。

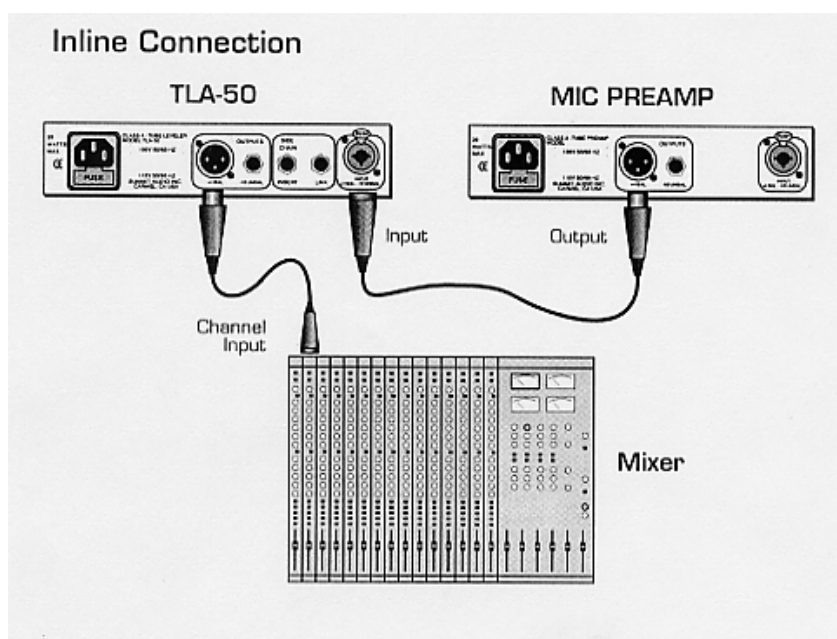


Insert Cable

信号はチップ (tip) より送信され、リング (ring) 側からミキサーに戻ります。チップ側のコネクタを TLA-50 の INPUT へ、リング側のコネクタを TLA-50 の OUTPUT に接続します。

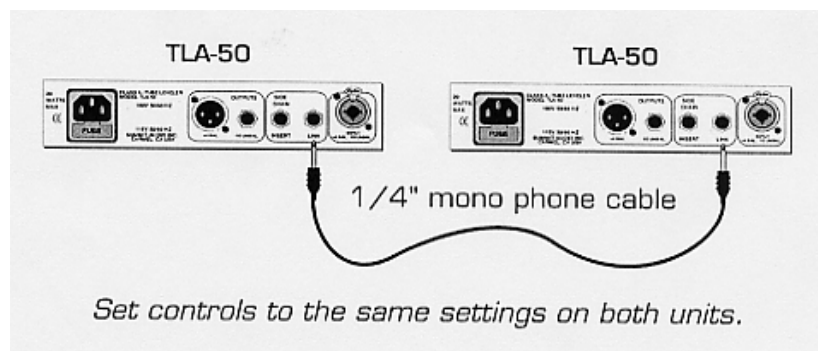


外部マイクプリアンプを使用する場合の TLA-50 の接続方法



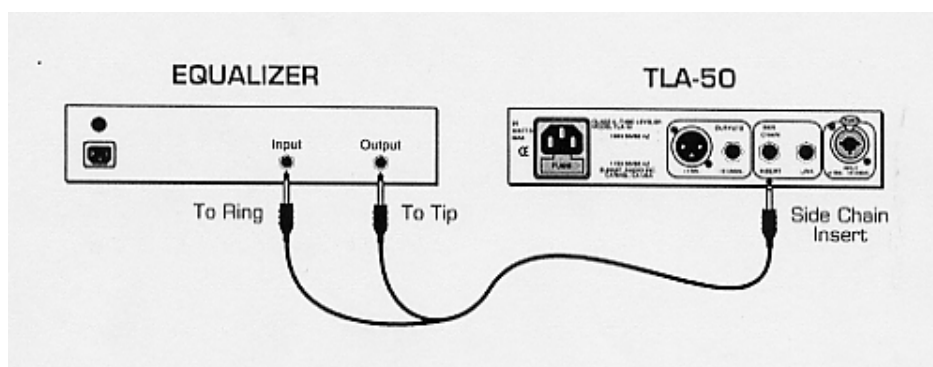
ステレオリンク時の接続

2 台の TLA-50 のリンク端子をアンバランス・フォンケーブルで接続します。両ユニットの
アタックとリリーススイッチ、ゲインリダクションを同じ設定にします。信号の大きな方
のチャンネルが両ユニットをリードします。その上でそれぞれを LINK MODE に切り替え
ます。



ディエッシング

インサートケーブルを TLA-50 リアパネルのサイドチェーン端子に接続して下さい。イン
サートケーブルのセンド（リング側）を EQ の入力端子へ、リターン（チップ側）を EQ の
出力端子へ接続して下さい。コンプレッサー（de-ess）をかける EQ の周波数をブーストし
て下さい。

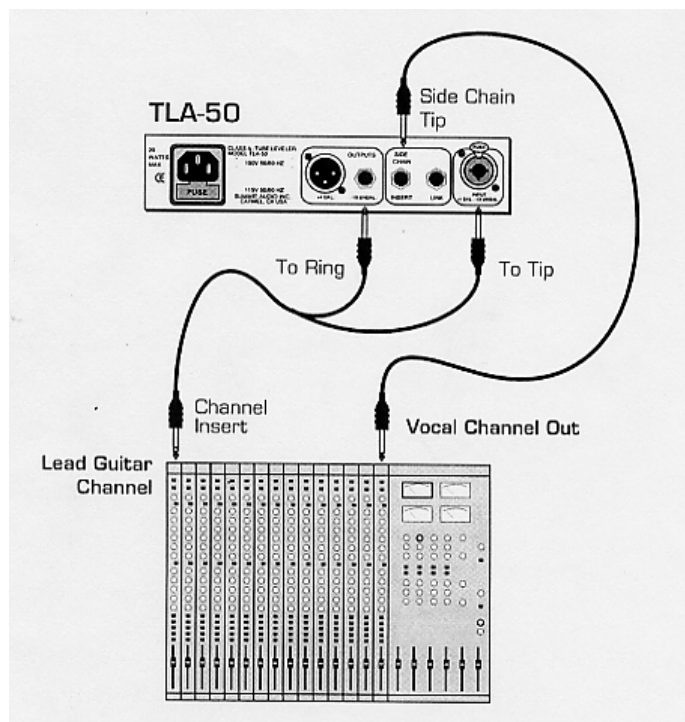


ダッキング

メインの音源の出力をサイドチェーンのリターンへ接続し、音が入力されるとバックグラ
ウンドの音量を自動的に下げることができます。

接続例

TLA-50 をリードギタートラックにインサートし、ボーカルマイク出力をサイドチェーンに接続します。ボーカルマイクを使用すると、リードギターの音量が下がります。

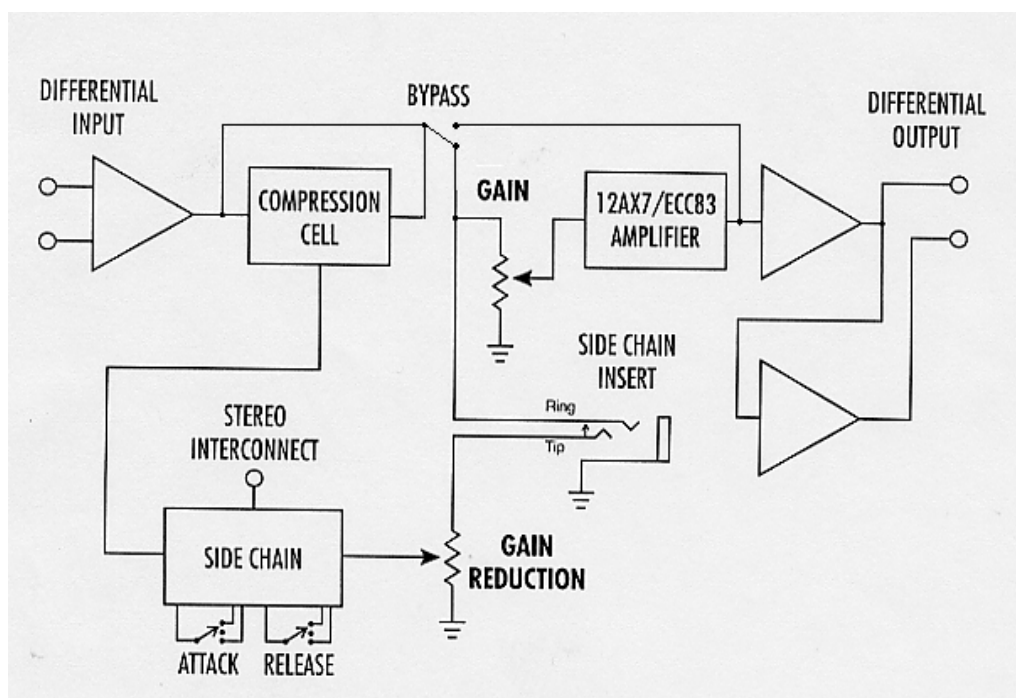


TD-100 と TLA-50 の併用

ギター/ベースをより際立たせるため、TLA-50 と共に Summit Audio TD-100 楽器用プリアンプ/チューブダイレクトボックスをご使用下さい。

ギターなどの楽器を TD-100 のフロントパネルへ接続して下さい。XLR またはフォン・ケーブルを使用し、TD-100 の出力を TLA-50 の入力端子へ接続し、TLA-50 からダイレクトに録音機材へ接続します。

ブロックダイアグラム



TLA-50 へのバランス入力信号は、コンプレッション回路に流れます。サイドチェーンによりステレオカップリングや EQ のインサクションが可能です。真空管とソリッドステート回路のコンビネーションによりコンプレッション回路の動作を安定させ、2 台の TLA-50 間のトラッキングは 3dB 以内となります。

TLA-50 は、真空管アンプを搭載しています。入力された信号はすべて真空管によって増幅されます。バランス出力ドライバーにより、出力インピーダンスは負荷 600Ω と低く抑えられています。

入出力端子

Input

- ・アンバランス・フォン端子

スリーブ：アース

チップ：+

- ・バランス 3 ピン XLR 端子

1 pin：アース

2 pin：+

3 pin：-

Output

- ・アンバランス・フォン端子

スリーブ：アース

チップ：+

- ・バランス 3 ピン XLR 端子

1 pin：アース

2 pin：+

3 pin：-

サイドチェーン

バランス・フォン

チップ：EQ からの入力

リング：EQ への出力

スリーブ：アース

ステレオリンク

アンバランス・フォン

チップ：信号

スリーブ：アース

フォン・フォンのシールドケーブルを使用して下さい。

スペック

Output: バランス/アンバランス仕様

出力レベル	+4dBm、0VU
出力インピーダンス	75Ω
最大出力	約+29dBm

Input バランス/アンバランス仕様

入力インピーダンス	20kΩ
最大入力レベル	+26dBm

電源	20W、100V、50/60Hz
ヒューズサイズ	0.5A、slo-blo 100/115V
寸法	21.6×4.5×21.6 (cm)
重量	2.0 kg

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

